

相武台リハビリテーション病院の 地域における役割

～回復期リハビリテーション病棟の拡充へ～

医療法人神奈川せいわ会
相武台リハビリテーション病院
院長 林 俊之

「運営方針」

- ・ 回復期病棟・医療療養病棟・介護医療院の
ケアミックス病院として運営する。

今後の方針として・・・

- 回復期リハビリテーション病棟の拡充
- 入院中心の運営
- 病病連携、病診連携

県央区域

病床機能区分	2022年度 病床機能報告 結果	2025年度 必要病床数	必要病床数と の比較	過不足状況
高度急性期	97	541	△444	不足
急性期	3,196	2,071	1,125	過剰
回復期	1,101	1,852	△751	不足
慢性期	1,054	1,239	△185	不足

相模原区域

病床機能区分	2022年度 病床機能報告 結果	2025年度 必要病床数	必要病床数と の比較	過不足状況
高度急性期	944	808	136	過剰
急性期	2,304	2,305	△1	不足
回復期	451	1,710	△1,259	不足
慢性期	2,384	2,413	△29	不足

病床機能転換計画



2024年4月1日

2024年10月1日

2025年5月1日(予定)

病床の稼働率について

回復期リハビリテーション病棟

	病床数	平均在院患者数 (床)	稼働率 (%)
令和6年10月	40	25.03	62.58
11月	40	37.60	94.00
12月	40	38.20	95.50
令和7年 1月 (10日時点)	40	39.00	97.50

病床の稼働率について

療養病棟

	病床数	平均在院患者数 (床)	稼働率 (%)
令和6年10月	159	143.80	90.44
11月	159	140.90	88.61
12月	159	137.32	86.36
令和7年 1月 (10日時点)	159	130.70	82.20

病床の稼働率について

介護医療院

	病床数	平均在院患者数 (床)	稼働率 (%)
令和6年10月	44	43.96	99.90
11月	44	43.80	99.54
12月	44	41.42	94.13
令和7年 1月 (10日時点)	44	41.40	94.09

回復期リハビリテーション病棟の人員について

☆ 看護師 15:1 補助者 30:1

職種	人員(現状)	今後(2病棟)
看護師	15人	31人
助手	11人	22人

☆リハビリスタッフ

職種	人員(現状)	今後(2病棟)
理学療法士(PT)	15人	30人
作業療法士(OT)	8人	20人
言語聴覚士(ST)	3人	5人

現在は、看護師については2病棟を回復期に転換の場合において 既に人員の確保は充足しております。

またPT／OTについては今年度新卒者の採用も含め グループ医療機関からの出向・転籍により人員確保が可能な状況となっております。

地域で担う役割

県央医療圏において回復期リハビリテーション病棟が統計上最も不足している状況であります。当院は令和6年10月の回復期リハビリテーション病棟開設以来、多くの病院様より患者様のご紹介をいただき、現在稼働率も高い状態で推移しております。

今後においても当病棟の拡充により、急性期病院からの紹介等により将来的な在宅復帰への道筋となりうる様、対応が充分可能と思っております。

慢性期病棟よりの変更につきましては、病棟構成として当院は介護医療院を併設しており(44床)、転換後におきましても合計163床の慢性期の患者様の受入れが出来る事から地域医療機関の皆様にはご迷惑をかけることなく引き続き対応できる体制となっております。

今後も地域に必要とされる病院として運営をして参る所存でございます。

回復期リハビリテーション病棟（40 床） 12 月分実績

◦ 月末患者数	40	
一日平均患者数	38.20	
稼働率	95.50%	
◦ 入院料	回復期リハ 5	
	回復期対象割合	100% （80%以上）
	入院患者数	18 人 （受入れ先は近隣大学病院、二次救急、
	退院患者数	15 人 三次救急病院、国公立病院 等）
退院内訳	在宅	10
	老健	1
	院内転棟	2
	急性期病院	2
在宅復帰率		66.66% （6 ヶ月約平均 70%）
◦ リハビリ実績	脳血管リハ	50.0%
	整形疾患	29.0%
	廃用	21.0%
	一日平均単位数	6.28 単位 （2 単位以上）
	入院時重症割合	51.40% （6 ヶ月平均 40%以上）
	退院時改善割合	30.26% （重症者改善 30%以上）
	アウトカム評価	36.68% （6 ヶ月平均 40%以上）

2025年に向けた対応方針

作成日	2025年 1月 23日						
医療機関名称	相武台リハビリテーション病院			開設者	医療法人神奈川せいわ会		
所在地	神奈川県座間市相武台1-9-7						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	40床	159床				199床
	稼働病床数	40床	159床				199床
病床機能 (2024年10月)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数			40床	159床		199床
	稼働病床数			40床	159床		199床
診療科目	内科、脳神経外科、皮膚科、リハビリテーション科						
職員数	医師9.8名 薬剤師7名 看護職員67名 看護補助者58名 PT15名 OT8名 ST3名 その他コメディカル12名 MSW4名 事務職員16名 合計199.8名						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
			(床)	(40床)			
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	現在 回復期リハビリテーション病棟(40床)を運営し、地域の二次救急・三次救急病院の後方支援として患者受け入れを行い、在宅復帰率70%を維持しております。また慢性期病棟159床と合わせて介護医療院44床を運営し、慢性期疾患の長期入院対応を行っており、右取り迄行っております。						
課題等	隣接する相模原医療圏が慢性期病床の過剰地域であり、近年医療療養病棟における稼働率が減少傾向にあります。 リハビリの充実と在宅復帰を希望する方が増加傾向にあり、その対応が不可欠であると思います。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
			80床	119床			199床
今後地域で担う役割等	県中央医療圏で不足している回復期リハビリテーション病床を40床増床し、二次救急・三次救急病院の後方支援として、リハビリ目的である高齢者の受入れを積極的に行います。また医療療養病床119床と介護医療院(44床)において高齢者の長期入院対応も行います。						

病床機能の変更 (増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	医療療養型の一部 40床を回復期リハビリテーション病棟へ転換。 地域における回復期リハビリテーション病棟の不足解消を目指します。 2025年5月1日を目処とします。		
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	なし		
その他・自由記載欄	なし		
数値目標等			
項目	現状(2020年)	目標(2025年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	82.00%	95%	療養85.81% 一般79.44% 回復95.50%
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			
他医療機関・介護施設等との連携について			
主な受入元 (医療機関・施設名)	海老名総合病院、独立行政法人国立病院機構相模原病院、北里大学病院		
主な退院先 (医療機関名・施設名)	自宅及び高齢者施設 他		
特に力を入れている疾患等	脳血管疾患、整形外科領域の骨折後のリハビリ、高齢者の慢性疾患		
入院不可・対応不可の疾患等			
連携に関する要望や課題認識等	脳卒中および大腿骨頸部骨折の連携パスを結んでいる先との順調な紹介等が行われており、今後も地域病院との連携の強化を推進していく事と致します。		